

# お子さんやお孫さんに ワクチンを勧める前に

3月から12歳未満の子どもたちの接種が始まるかもしれない。わが子や孫に接種を勧めるのか。その判断材料となる資料やデータは全て厚生労働省のホームページに載っている。しかしその正確な情報を知らない人は意外に多い。ここでは厚労省のホームページから、接種前に最低限知っておきたい最新情報をピックアップして、今一度、未成年者の接種について考えてみたい。

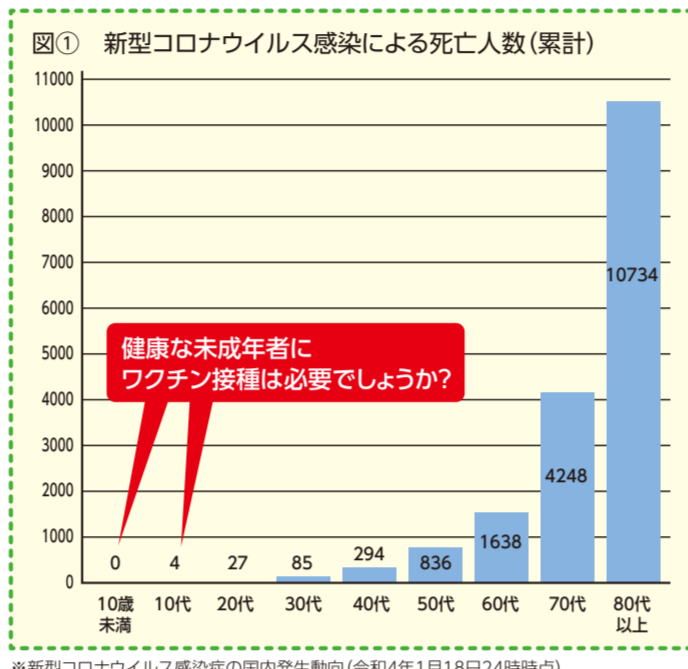
# 厚労省ホームページから「未成年接種」を考える

**未成年者のワクチン接種後 重篤者387人・後遺症8人・死亡者5人**

未成年者（0歳～20歳未満）がコロナワクチンを接種するメリットは何だろうか。厚労省の資料（図①）によれば、未成年者のコロナ感染はこれまでに4人いるが、その内の3人は元々重篤の基礎疾患があったことが分かっている。そしてもう一人はコロナ感染ではなく事故で亡くなり、その後のPCR検査で陽性反応が出たために「コロナ感染死」扱いになったものだ（東京都発表）。つまり、これまでコロナ感染で死亡した健康な未成年者はただの一人もいない。重症化もほとんどない。

これまでオミクロン株も含め新たな変異株が出るたびに、様々な専門家が「子どもも重症化する可能性がある」と発言してきたが、実際は感染してもほとんどが軽症で済んでいく。未成年者にワクチンが必要ないことは厚労省のデータが証明していると言える。

ところが未成年者がそもそも必要ないはずのワクチンを打つことによって多くの重篤者、命の危険が切迫している患者の亡くや死亡者が出てしまっている。昨年10月30日には13歳の少年がファイザー製ワクチンを接種した4時間後に入浴、浴槽内で水没しているところを発見されている。また、未成年者のワクチン副反応疑い報告はすでに**1606人にも上り、そのうち**



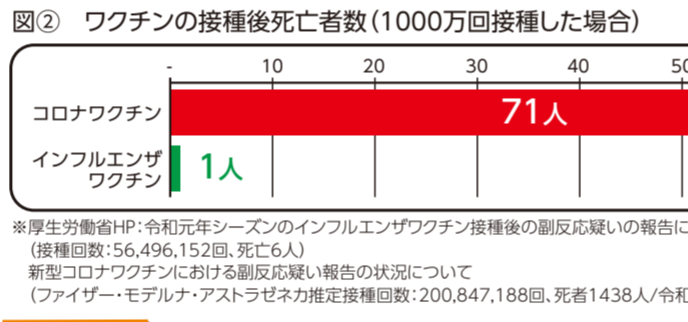
※新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(令和4年1月18日24時時点)

**ワクチン接種と1400人超の死亡は 本当に関係ない？**

未成年者にとって有害なものは、大人にとっても有害な可能性がある。事実、コロナワクチン接種後の死亡者の中で、医師がワクチンの影響を疑って厚労省に報告した事例が、1月14日時点で**1444人**（ファイザー製1377人、モデルナ製66人、アストラゼネカ製1人）に達している。しかし**ワクチン接種会場で突然死亡した場面も含めて**、厚労省は一人として因果関係を認めない。つまり、厚労省のホームページに明記されている通り、**「接種が原因で多くの人が亡くなった」ということはあり**

「接種が原因で多くの人が亡くなった」という見解だ。そうだとすると、死亡した人たちはワクチンと関係なく、その時点でたまたま何かの病気で亡くなったことになる。

しかし、それではなぜコロナワクチン接種後にはたまたま大勢の人が死亡するの、インフルエンザワクチンでは、それが少ないのだろうか？（図②）その理由は「**たまたまの死亡**」ではないからと考えるのが普通ではないだろうか。そう考えると、**「接種が原因で多くの人が亡くなった」ということはあり**



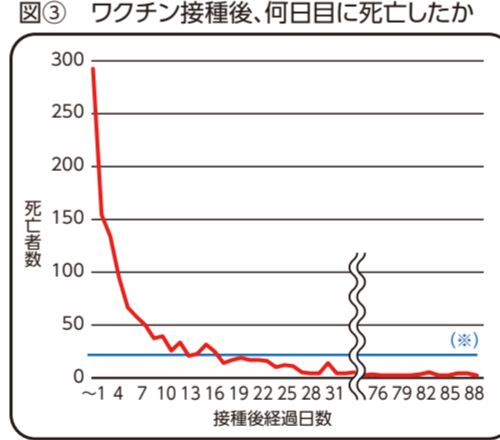
※厚生労働省HP:令和元年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応疑いの報告について(接種回数:56,496,152回、死亡6人) 新型コロナウイルスワクチンにおける副反応疑い報告の状況について(ファイザー・モデルナ・アストラゼネカ推定接種回数:200,847,188回、死者1438人/令和4年1月2日時点)

**POINT!**

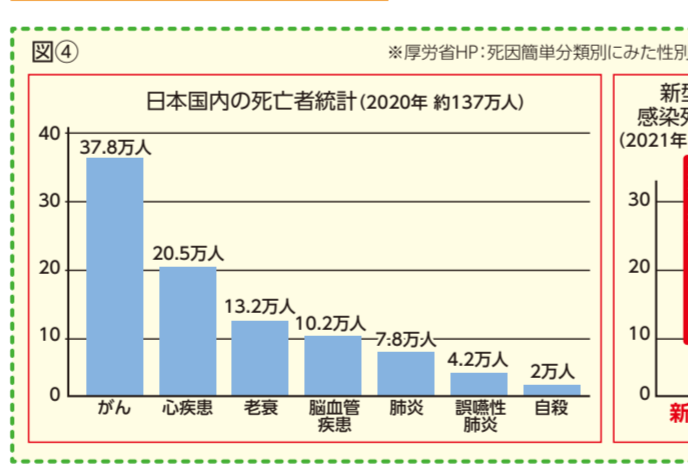
厚生労働省HPに掲載されている**コロナワクチン3つの事実**

- ①インフルエンザワクチンと比べて、**接種後死亡が圧倒的に多い。**
- ②接種した翌日までに**死亡した人が圧倒的に多い。**
- ③接種後死亡者の死因は、**血栓症や循環器系障害が圧倒的に多い。**

**推測 「ワクチン接種」が原因で死亡した人があるのでは？**



厚生労働省HP 新型コロナウイルス接種後の死亡として報告された事例の概要(令和4年1月21日)より作成 接種当日(0日)の死亡者数は、接種後の経過時間が短いため1日に集めて集計



もちろん個々の因果関係は分からないが、死亡者の死因も千差万別ではなく、**血栓症(血の塊が血管を塞ぐ病気)や循環器系(心臓と、全身に血液を循環させる血管ネットワーク)障害**が圧倒的に多い。この偏った分布と死因を見る限り、ワクチンにはまだ明らかでないが、それが原因でこれまでに健康な子どもや若者も含め、多くの人が死亡した可能性は決して否定できないだろう。

## ワクチンの安全性は 2023年5月まで不明

厚労省はホームページに「ワクチンが不正出血や月経不順を起すことはありません」と明記しているが、イギリスでは生理関連の副反応を訴える報告が3万件以上上っている。アメリカでも同様の事例が多発しているため、米国立衛生研究所(NIH)が昨年9月末から調査を始めている。生理不順や月経遅れ、生理痛の増加、生理量の増加などの症状だけでなく、閉

経したが生理が再開したという副反応まで報告されていて、日本国内においても不正出血や月経不順を訴える例が増えてきている。

ワクチン接種に関しては、この他にも心筋炎の症例が多かったり、3回目のワクチン接種が必要になったりと、厚労省も製薬会社も想定していなかったことが数か月の間にいくつも起

ついている。その理由は、今回のワクチンが人体に用いるのが初めてであり、有効性も安全性も2023年5月まで不明（ファイザー）の「臨床試験中の実験試薬」だからだ。それは人体への長期的な影響が誰にも予見できないことを意味する。

河野太郎副首相(厚労大臣)は、自身のブログで「試験が省は「審議結果報告書」の中で「接種後長期の十分な安全性データが得られていないことには留意が必要である」と記載している。ワクチンの安全性を確認する手続を特別承認を省略してしまったため、厚労省も今後数年に渡って何が起るか分からないまま接種を推進しているのが現状だ。

大阪府立大学名誉教授は「ワクチン接種は始まったばかりのため、不妊の根拠が報告されるしたら、これから数年、数十年後のごときである。何らかの異常

が確実に**卵巣や精巣**に集まる動物実験のデータがある。厚労省ホームページには「**不妊にならない**」との記載は一言もなく、ただ「現時点では、ワクチン接種が不妊の原因になるといって科学的根拠は報告されていません」と書いてあるだけだ。

これについて前出の井上正康大阪府立大学名誉教授は「ワクチン接種は始まったばかりのため、不妊の根拠が報告されるしたら、これから数年、数十年後のごときである。何らかの異常

が、今後死亡や健康被害が増え続ければ、**大規模な薬害事件**に発展する可能性もある。

最後に想像してほしい。もしあなたの子どもや孫がワクチン

接種後に突然亡くなったたり重大な健康被害に遭ったり後遺症が残ったりしたら、ワクチンが原因ではないかと疑ってしまうのではないだろうか？ また「因果関係なし・不明」という発表に納得できるだろうか？ そして子どもに接種を勧めたことを後悔し続けるのではないだろうか？

最後に想像してほしい。もしあなたの子どもや孫がワクチン

接種後に突然亡くなったたり重大な健康被害に遭ったり後遺症が残ったりしたら、ワクチンが原因ではないかと疑ってしまうのではないだろうか？ また「因果関係なし・不明」という発表に納得できるだろうか？ そして子どもに接種を勧めたことを後悔し続けるのではないだろうか？

最後に想像してほしい。もしあなたの子どもや孫がワクチン

## 本当に必要ですか？

## 子どもへのワクチン

(賛同団体) 岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会

ここでは、ワクチンの「危険性」の一部を紹介しました。掲載できなかった、その他の詳しい情報は、下記ホームページをご覧ください。

皆様からのご支援で活動しております。

累計寄付金額 143,473,527円(1月31日20時15分時点)

右QRコードからもご覧頂けます。▶

<https://jccovid.net/>

ゆうネット 意見広告 検索

メールまたは上記QRコードよりご意見・ご感想をお寄せください

メール [mail@dbank.jp](mailto:mail@dbank.jp)

株式会社ゆうネット

新型コロナウイルス関連情報発信センター

代表取締役 堤 猛 (ご意見はメールよりお願いします。)

福岡県福岡市中央区天神4-1-17 2F TEL 092-235-2470

「簡単!10分で分かる 新型コロナワクチンの危険性」

井上正康先生講演会動画

おすすめ最新書籍 (参考文献)

「まんがで分かりやすく解説!」

「ローマニズム宣言SPECIAL コロナ論4」(扶桑社)

著書:小林 よしのり (2021年11月18日)

※ここでの内容は、主に厚生労働省ホームページに掲載されている情報や新聞各社で報道された情報を基にしています。